

漢法苞徳塾資料	No. 063
区分	治法・鍼法
タイトル	九鍼論・鍼解論篇ほか
著者	八木素萌
作成日	

鍼種		『素問』鍼解第 54	『靈樞』官鍼第 7	『素問』調經論第 62
1 鍼	鑱鍼	皮 皮応天		
2 鍼	員鍼	肉 人肉応地		
3 鍼	鋌鍼	脈 人脈応人		
4 鍼	鋒鍼	筋肉 発痼 人筋応時		
5 鍼	鈹鍼	骨 人声応音		
6 鍼	員利鍼	調陰陽 人陰陽合気応律		
7 鍼	毫鍼	益精		
8 鍼	長鍼	除風		
9 鍼	太鍼	通 9 竅・除 3 6 5 節気 水腫不能通関節		

○…夫十二経脈 皆生其病……夫十二経脈者 皆絡三百六十五節 節有病 必被経脈 経脈之病 皆有虚実……経絡支節 各生虚実 其病所居 随而調之 病在脈 調之血 病在血 調之絡 病在気 調之衛 病在肉 調之分肉 病在筋 調之筋 病在骨 調之骨 燔鍼劫刺其下 及與急者 病在骨 焮鍼葉熨 病不知所痛 兩蹻為上 身形有痛 九候莫病 則繆刺之 痛在於左而右脈病者 巨刺之 必謹察其九候 鍼道備矣

『素問』調經論第 62

燔鍼＝焼鍼

焮鍼＝火鍼

刺者・刺燔鍼則取痺也

繆刺と巨刺および燔鍼が痺を取るものであるという認識を記述しているところである。

○…刺虚則実之者・鍼下熱也。気実乃熱也。満而泄之者・鍼下寒也。気虚乃寒也。
菀陳則除之者・出惡血也。…

『素問』鍼解第 54

○…岐伯曰・夫一天二地三人四時五音六律七星八風九野・身形亦應之・鍼各有所宜・故曰九鍼。人皮應天・人肉應地・人脈應人・人筋應時・人聲應音・人陰陽合氣應律・人齒面目應星・人出入氣應風・人九竅三百六十五絡應野。故一鍼皮・二鍼肉・三鍼脈・四鍼筋・五鍼骨・六鍼調陰陽・七鍼益精・八鍼除風・九鍼通九竅・除三百六十五節氣・此之謂各有所主也。人心意應八風・人氣應天・人髮齒耳目五聲應五音六律・人陰陽脈血氣應地・人肝目應之九。

人一以觀動靜天・二以候五色七星應之以候髮母澤・五音一以候宮商角徵羽六律有余不足應之二地一以候高下有余九野一節俞應之以候閉節三人變一分人候齒泄多血少十分角之變五分以候緩急六分不足三分寒關節第九分四時人寒溫燥濕四時一應之以候相反十四方各作解。

『素問』鍼解第 54